

デジタル採点システム  
採用事例紹介

採点は **ラク** になる。





## 青山学院中部

### 青山学院中部

東京都渋谷区渋谷にある私立の中高一貫校。

「愛と奉仕の精神を養い、社会に貢献する人物を育成する」という教育方針を掲げ、「地の塩、世の光」をスクール・モットーに、キリスト教信仰にもとづく人格教育を重視している。

きめ細かい指導を行うために、全学年1クラス32名8クラス制を導入しており、ゆとりを持ちながら基礎学力の充実を図っている。個性を尊重した自由な校風から、幅広い分野で活躍する卒業生を輩出している。



2020年より、定期テストなど学校内での普段のテストの採点に、デジタル採点システム「YouMark Personal」を導入していただきました。

システムの導入を推進していただいた浦田浩教頭先生(理科)と、導入時から現在に至るまで学校内でのシステム利用をまとめている教務委員会の達富悠介先生(国語科)に、導入の経緯や効果、今後の課題についてお話を伺いました。

2015年頃から導入は検討していたが、  
当時は時期尚早で理解が得られなかった

——我々が学校にはじめてご訪問したのが2019年の9月でした。デジタル採点の説明に来て欲しいとご要望をいただき、何名かの先生に向けてデモンストレーションをさせていただきました。先生方はそれまで、こういうシステムがあるのはご存じでしたか？

**浦田教頭** 2015年だったと思いますが、「教育ITソリューションEXPO」の展示会で佑人社さんや他の業者さんのブースで拝見して、採点システムの存在は知っておりました。その時に一度導入しようかと検討したのですが、時期が早すぎて先生方の理解が得られませんでした。そもそも本校はICT関係でちょっと奥手のところがあるんですね。いまだに通知表も手書きです。採点についても、「自分の手で採点することに意味がある」という声もあり、「システムを導入する意味があるのか？」という反応が多かったんですね。そのタイミングでは無理に導入しても意味がないなと思い、こういうものがあることを知ってもらい、じわじわとボトムアップで「導入したい」という声が出ると良いなと思っていました。



浦田教頭

——2019年秋の段階では先生方からそういう声が出始めていたのでしょうか？

**浦田教頭** 他校で非常勤をやっていた教員から、入試の採点でYouMarkを利用したという情報が教務委員長に入りました。なかなか使い勝手が良かったという話でした。いわゆる口コミです。そこで教務委員会の中で、導入を検討しようではないかという話になりました。それで佑人社さんにお声をかけさせていただきました。

コロナ禍で対応すべきことは多かったが  
導入を検討すべきだと考えた

——導入を決定いただいたのは2020年7月でしたが、導入決定にいたるまでに何かご苦労はありましたか？

**達富先生** 2019年度末に教務委員会ですべて使っていきたいという議題が出ました。ただ、全校の先生にいきなり使ってもらうのではなく、教務委員会の中の数名の教員で試してみようという判断になりました。ただ、コロナ禍で教務委員会としても色々に対応しなければならぬことも多く、「はたして今本当にこれをやるべきか」「自分たちで取りまとめられるか」という懸念もありましたが、個人的には非常に使いたいと思っていましたし、採点を効率化することで他の業務にまわせる時間も生まれると考えていました。2020年4月の年度明けから教務委員会の先生方で試すこととなりました。ただ、教務委員会の中でも抵抗感がある先生もいましたし、反対の考えをもつ先生方からこんな意見が出るんじゃないかという危惧もあり、最初の一步がなかなか踏み出せなかったのが正直なところでした。色々なことを危惧すればするほど、やらない方がよいのではないかという意見もありました。ただ、最初抵抗があった先生も実際に使ってみて便利さがわかり、理解を示してくれるようになりました。

——一部の先生方からネガティブな意見が出るというのはどの学校でもよく話題になるのですが、それはPCの操作に慣れていないことで拒否反応が出そうだという意見でしょうか？

**達富先生** PCの操作に不慣れな先生に抵抗感がありそうということももちろんありましたが、それよりももっと根本的なところでの懸念がありました。採点というのは「生身の教師と生身の生徒とのコミュニケーション」であって、画面上で済ませてしまうことや、印刷物を返すことの味気なさ、温かみのなさといった点で反対意見が出るのではという懸念がありましたし、実際にそういう声も届きました。ただ、使いたい先生だけが使える範囲で使って効率化を図れば良いと考えました。これまでどおりの採点を続けたい先生はもちろんそれで良いというスタンスで、その考え方は今でも変わりません。

## セキュリティ面のチェックをしっかりと行い、 クラウド型サービスで良いと判断した

**浦田教頭** システムの導入にあたって管理側としては予算面、安全面を担保しなければいけませんので、その部分を考えていました。まずは、YouMark Personalのような利用枚数に応じた価格体系のクラウド型か、アプリケーションの買いきりインストール型のどちらが良いのかを検討致しました。個人的には当初はアプリケーション買いきりが良いのではと思っていましたが、世の中のクラウドへの流れやメンテナンスの必要がない利点もあり、また1枚10円という料金も予算的にそれなりに抑えられるものだと判断し、YouMark Personalの導入を想定した臨時の予算を確保しました。安全面では、答案をクラウドにアップロードするのが大丈夫なのかという不安がありましたので、青山学院大学「情報メディアセンター」にYouMark Personalについて安全面の確認をしました。その際にはシステムについて様々細かいことまで佑人社さんにお伺いしましたが、最終的には「導入しても問題なし」とお墨付きをもらいました。そういった形で、予算的にもセキュリティ的にも導入しても大丈夫だという状況を作りました。その後教務委員会での検討では、YouMark Personalを試しに試ってみて、思った以上に使い勝手が良かったということもあり、導入決定に至りました。

## 採点時間はこれまでの半分になり、 一人ひとりの答案にしっかり向き合えるようになった

—— YouMark Personalの採点画面をはじめて触ったときはどんな印象でしたか？

**達富先生** 基本的な操作はすぐに理解できました。直感的な操作で採点が出来ると思いましたね。また、手採点の時に何気なく出来ていることが何でも出来るということで、非常に興味が湧きました。設定もすぐに慣れましたね。つまりくところはありませんでした。

**浦田教頭** 私、実は採点が苦手なんです。得意だったのは最初の1年目だけ。毎回になってくると結構負担なんですよ。理科の教員なので8～9クラスを担当することになるんですね。多くの採点をしなければならない訳です。ありがたいことに採点期間というのは設けられているんですが、期限内に採点をしなければならないのはもちろんのこと、ノートや提出物の確認をしたりと学期末は他にもやるべきことがあるのが実際のところ。「採点終わった！」「次は点数計算！」「次は入力！」「そして評価！」という流れになってしまいます。そうすると、一人ひとりの答案、解答を見て「この子は……」というところまではなかなかたどり着けません。それが、YouMark Personalを使っからは、その時間が半分以下になったと感じています。その分、一人ひとりの答案にしっかりと向き合えるようになりました。どんなこともそうですが、最初は慣れるのが大変です。でも一度慣れてしまったらあとは問題ありません。これなら若い方であれば、すっと入っていけそうだなと感じました。ベテランの先生は最初ちょっと苦労するかもしれないなと思いましたが、達富先生などがフォローしてくれますし、ICT支援員の補助もあります。それで運用はうまくいっていますね。

## 国語の記述問題の評価基準の 統一にも役に立っている

**達富先生** 私は国語の教員ですので記述問題が多く、2、3人の教員で1学年を受け持つことが多いです。そのため、長い記述問題を

どう採点するかが大きな課題でした。「どこをどう書いてあれば何点の部分点を与えるのか」ということについて、他の先生方との調整にすごく時間がかかります。YouMark Personalでは、設問ごとに採点が出来ますので、他の先生方と調整する必要がある記述問題はあとにして、それ以外の問題を優先して丸付けすることで、精神的にも楽になりましたね。力を入れて考えなければならない問題とのペース配分が出来るようになりました。

——先生方は自分の受け持ちクラスの答案を採点するという形ですか？

**達富先生** そうですね。自分の受け持ちのクラスの答案を採点します。他のクラスを採点する先生方と評価基準が統一できていなければ、当然正しい評価になりません。これまでは、判断に迷う解答には付箋をつけておき、その答案をみんなで持ち寄って相談していました。全員がYouMark Personalを使っている場合ですと、複数の先生方が付箋をつけたものをまとめて見ることもできますので非常に便利です。具体的には付箋を貼ったり、保留を使ったり、青ペンで加算すべきかどうかなどのメモをつけたりしています（※青字ペンツールは生徒には見えない先生用のメモ機能です）。他の先生方に自分がメモした解答について確認いただくことが非常に簡単にできます。このあたりは非常に便利です。



## 一問ごとの正答率がきっちりと出ることを 今後の指導に活かすことが大切

**浦田教頭** 本来テストは生徒一人ひとりと向き合うチャンスなのですが、手採点で時間的な余裕がないと、採点と評価が作業となってしまいます。このようなツールがある時代において、マルバツをつけることが教員の仕事でなくなる可能性もあります。私自身、採点時間に余裕が出たことによって、一人ひとりの答案をじっくり見られるようになりましたし、一問ごとに正答率を見て、将来の指導への反省をしています。本来、成績をつけるためのテストではなく、生徒に学習内容を定着させるためのテストですし、教師にとっては、自分の教え方を振り返るためのテストであると思っています。先生方にはそのように使って欲しいです。働きかた改革という観点もありますが、ただ楽になっておしまいでは意味がありません。採点は早く終わらせて、一人ひとりの生徒の答案と向き合い、個々の生徒にどのように対応したらよいのかを考える時間をしっかりと取ることが大切です。また、きちっとした数字が出ることも大切です。これまでも教員それぞれがある程度は正答率を把握していましたが、数字ではっきり表れることはかなり重要です。クラス間で正答率に大きな開きがあることもあります。立場上多くのクラスを持っていないので講師の先生と分けて受け持っていますが、講師の先生の教えているクラスの方が正答率の高い問題もあります。その場合は、どうやって教えているのか聞くこともできますし、指導の仕方が甘かったかなと自分の指導を反省することができます。今後の授業に繋げるのが一番大事だと思っています。今回のYouMark Personalの導入は改めてそういうことに気づかされました。



## 部分点になった解答を一覧で表示させて、 何が悪かったのかを考える授業を行った

**達富先生** これも国語の記述問題ですが、部分点をつけた解答だけをYouMark Personalの採点画面に一覧で表示し、当然生徒の名前は伏せた状態ですが、スクリーンショットを取っておき、それを答案返却時に生徒に見せるということを授業でやってみました。「君たちの中にこういう解答があったんだけど部分点しか与えられていない。どうしてそうなったと思う?」と問いかけてみたんですね。「この解答は何が足りないのか?」「模範解答とは違うがこれも正解になり得るか」などを問いかけました。テストが終わったらそれで終わりではなく、取り組んだ問題からさらに深い学びができると考えています。

**浦田教頭** それはいいですね。

**達富先生** 記述の問題は△(部分点)を取るの結構できるんですが、○(満点)を取るのはすごく難しいんですね。△の解答からもう一步考察できれば、もっと深い学びになるのかなと考えています。生徒を採点者の立場に引き込みたいと思っているんですね。○だ、△だと評価されるだけでなく、これならやっぱり○だ、これは△だと考えて欲しいと思っています。生徒自身も「なるほどな!」と納得できますし、「こうしたら良いんだ」と新しい気付きにもつながるし面白いなと思っています。

### ——採点の基準を生徒に公開しているんですか?

**達富先生** そうですね。私は公開するようにしています。この観点で採点を行っている、どこまで書けていたら何点与えるというのが分かるように示しています。この授業、生徒の反応はすごく良いですね。画面上に自分の解答が出て来なくても、「これは自分と似ている」「自分とは違うけどこれも同じ△なんだ」と生徒自身が興味を持ってくれますし、自分たちが間違えたものを何とかしなければという義務感のようなものも出ているような気がします。

## 小テストを教室でスキャンして すぐに返却するのも復習効果が高かった

**達富先生** テストを受けた時は生徒のモチベーションがすごく高いんですね。そのモチベーションを次の授業や復習にどう活かすかがすごく大事だなと思っています。それにはデジタル採点が非常に有効だなと感じています。さっきの例もそうですが、授業中の小テストについても活かしています。「小テスト」実施時に教室に小さめのスキャナを持ち込み、その場でスキャンしてしまいます。答案はその場ですぐに生徒に返却し、その後すぐ解説します。次の授業で返すとなると時間があいてしまい、せっかく高かったモチベーションが冷めてしまう気がするんですね。答案をすぐに返却することで、高いモチベーションを維持したまま復習ができます。実際の答案はスキャンしてあるので、あとでYouMark Personalで採点できる。

当然採点もはやいです。答案をすぐに返して復習に活かすことが出来るのは効果が非常に高いと考えています。

## YouMark Personalの利用を 指導に活かすアイデアを今後も考えたい

**浦田教頭** 本当にその通りです。非常に良い流れですね。さっき達富先生が紹介した部分点になった解答をみんなで見るのは、デジタルを使った「学び合い」で非常に良いと思います。1人で学ぶのとはちがう「学校が学校である」ために大切なところだと思います。

テストの問題を作るときも、手採点であれば、計算しやすいように教師の都合で同じ点数を並べて作成したりしていましたが、デジタル採点であればその必要もありません。本来作りたい「より良いテスト」にできます。また、スピードが大切ですね。試験が終わったばかりが生徒のモチベーションが一番高いです。定期テストではすぐに答案を返すのはなかなか難しいかもしれませんが、終わったらすぐに返すのが、学習の定着には効果的だと思います。今後も色々検討したいと思います。

## LMSの連携は非常に大切なポイント

### ——YouMark Personalへのご要望はありますか?

**達富先生** 基本的にはとても使いやすいと思っていますが、いくつか申し上げます。まず、クラウド上で答案を返却できる機能が欲しいなと思っていたので、今回のGoogle Classroom連携機能は非常に嬉しいと思っています。現在本校ではGoogle Classroomは使っておらず、大学を含めて学院全体で「CoursePower」という大学向けのLMS(学習管理システム: Learning Management System)を使っております。そこに連携できるのが一番です。ただ、採点や答案返却は学校にとって非常に大切な業務であると認識しており、プラットフォームの選択にも影響を与えていると思っています。YouMark PersonalがGoogle Classroomに連携できるなら、選ぶプラットフォームはGoogle Classroomにしようかと考えてもおかしくないと思っています。色んなサービスとの連携があれば、選択肢の幅が広がって良いですね。

次に、iPad上でペンを使って描画するとき、線があまりキレイではないという不満があります。特に国語の採点では色々と書き込みを加えたいと思っているので、そのあたりの機能が良くなれば、非常に嬉しいなと思っています。

**浦田教頭** 先ほど話題に上がった「CoursePower」というLMSには授業支援BOXという、紙のデータを変換して答案などを返却する機能があります。昨年の緊急事態宣言下では、生徒に答案を返却できないという場面もあり、手動でこの機能を使った場面もありました。こういった緊急時に備えることも含めて今後相談していきたいです。

また、「ア・イ・ウ」や「A・B・C」といった記号解答の自動採点についても早く導入して欲しいですね。認識精度は100%にならないでしょうが、あとで修正が出来れば良いと思っています。

**達富先生** 未記入の白紙の解答だけでも寄せておいてもらえると良いですね。非常に助かります。また、採点した後に配点などを直したいということがありますが現状では出来ません。ロック機能が大切なのは理解しておりますが、学校アカウントだけでも解除が出来るようになって欲しいと思っています。

※上記要望事項はいずれも佑人社内ですでに課題に上がっているもので、少しずつ改善していくことをお伝えしました。

(2021/3/16 取材)





# 桃山学院中学校高等学校 St. Andrew's School

## 桃山学院中学校高等学校

大阪市阿倍野区昭和町にある中高一貫教育の私立中学校・高等学校。  
キリスト教の自由と愛の精神をモットーにしており、自由な校風が特長の  
進学校である。

1884年の開校から130年以上の歴史があり、2001年には男女共学の国  
際コースを開設、2008年には中学校を開設し、2011年には標準コースを  
男女共学の文理コースに改め、中高一貫コースとともに新たな一歩を踏み  
出している。



2017年春の入学試験の採点からデジタル採点システム「YouMark」を導入いただき、その後も学校内でのテストの採点にご利用いただいておりますが、2019年9月に学校内での利用に特化した「YouMark Personal」がリリースされると、いち早く導入いただきました。

システムの導入を推進いただいた田中智晴先生(理科)と、YouMark Personalを存分に活用いただいている山田秀雄先生(数学科)と小川謙太郎先生(英語科)に、YouMark Personalの活用方法や導入効果、今後の課題についてお話を伺いました。

### 手採点の頃に比べて採点にかかる時間は 半以下になった

——今現在、桃山学院様でYouMark Personalをご利用になっている先生方はどれくらいいらっしゃいますか？

**田中先生** 80%くらいの先生は使っていると思います。実力テストでは全員が使っておりますので、使ったことがあるということであれば100%ですが、定期テストでは80%くらいでしょうか。かなりの先生方が活用しています。



田中先生

——実力テストはすべての先生がYouMark Personalで採点を行っているとのことですが、採点の分担はどのようにしておられますか？

**山田先生** 数学はクラスごとではなく、設問ごとに分けて作業しています。

**小川先生** 英語も設問ごとですね。英訳などの問題は採点にブレが出てはいけませんので、小問ごとに専門家を決めていますね。1学年600～700人いますので、それぞれの担当の問題をまとめて1人で採点します。担当する問題は少なくなりますので、採点基準のブレがなくなるというだけでなく効率も良いですね。

**山田先生** 設問ごとに分担した方が採点ミスや質問の対応もやりやすいです。この問題は誰が採点したというのがはっきりしていますから、担当の先生が細かい内容も含めて生徒にしっかり対応出来ます。定期テストでも同じ方法です。

**田中先生** 特に学校でそのようにしなさいと決めている訳ではないんですよね。各教科の先生方が相談して、より良い方法を決めています。

——手採点からデジタルに移行して、作業効率の変化はどんなものでしょうか？

**田中先生** 私の実感としては1/3くらいになったと感じていますね。

**山田先生** 数学では解答のみを書かせる問題と、解答の途中経過を書かせる問題があります。途中経過を書かせる問題については、当初かなり時間がかかっていましたが、タッチパネル式のPCで書き込みながら採点をするようになって、劇的に早くなりましたね。アンダーラインなどを書き入れる作業がタッチパネルだと非常にやりやすいです。採点時間は手採点のときに比べると半分くらいにはなっていますね。また、点数計算がまったく必要ないですから、トータルでは倍以上の効率アップだと思います。

**小川先生** 英語は記号問題がたくさんあるのですが、手採点の時から私は1問ずつ採点をしていました。答案を1枚ずつめくりながらの採点も職人技のように早くなっていたのですが、YouMark Personalでの採点は比べものにならないくらい早いです。以前は紙で手を切ってしまうようなこともありましたがそれはありませんし、効果は非常に高いですね。格段に違います。私の実感としても採点時間は半分から1/3くらいになったという印象です。また、それで空いた時間を活用できているのも大きいです。以前から、文法問題であればどの問題が出来ていて、どの問題ができていないのかをきっちりと把握したいと思っていましたが、瞬時に集計ができます。これは大きいです。また、この情報を生徒にフィードバックできることも大きいです。生徒に配布する模範解答の裏面に全問題の正答率の一覧を載せるようにしました。我々教員が正しく生徒の学習状況を把握することが出来るようになりましたし、生徒もモチベーションアップに繋がっています。



## 試験後の授業のやり方が変わった

——採点の効率が上がっただけでなく、先生方のその後の指導にも変化が出て来たということですね？

**小川先生** そうですね。特に定期テストのあとに行う解説授業は大きく変わりました。これまでは「これくらいの生徒が出来ていたかな」という感覚はありましたが、はっきりと数字には出ていませんでした。試験のあとの解説授業は全問題について幅広く扱っていました。



小川先生

採点をデジタルにしてからは、はっきりと数字が出ていますので、正答率が90%以上のほとんどの生徒が来ている問題は飛ばしています。正答率が50%に満たないような問題を重点的に解説できるようになりました。

また、「これくらいは出来るかな」と思って出題したチャレンジ問題もはっきりと正答率がわかり、ちょっと難しいかなと思っていても90%以上の正答率だったりすることがわかったりと、新たな発見もありました。

**山田先生** 数学では以前手作業で正答率を出していましたが、非常に手間がかかります。デジタル採点で簡単に集計出来るようになったのは非常に大きいですね。私ももっと授業に活かしていきたいと思います。

**田中先生** 私からはこのようにしなさいと特に伝えていないですよ。各先生、各教科で工夫して効果的な活用方法を見つけている状況で非常に良いですね。

## 試験期間中の職員室の景色が変わった

——以前田中先生からは、職員室の景色が変わったというお話を伺いましたが、具体的にはどんな感じですか？

**田中先生** 紙で手採点する先生が少なくなりましたから、試験期間中の職員室の風景はほんとに変わりました。また、これまでは何日かけて採点を行っていたのですが、ほとんどの先生が試験日当日に採点を終えているんじゃないですかね。採点に追われているという状況がなくなったと思います。

**小川先生** 英語は英作文の問題があり、B4用紙いっぱいには生徒は書いてくるので採点は結構手強いんですが、それを先に片付けて、残りの語句や記号の解答の採点は自宅に持ち帰るというようなケースもあります。答案を持ち帰ることはできませんが、YouMark Personalなら自宅でも作業ができるということで気持ちに余裕が出ましたね。働き方の部分でも変化が出ました。また、これは二次的なことなんですが、答案返却後に生徒が解答を改ざんできないということも良いと思っています。改ざんすることが出来る余地があれば、子どもですからそういう悪い心が出てくる生徒もいますが、デジタルになれば改ざんできる余地もありません。教育的にも良いと思っています。

——デジタル採点の答案が返却されることで、生徒さんが違和感を持つことはなかったですか？

**田中先生** 特にそういうことは聞いていませんね。生徒からも保護者からもそういう声は出ていません。生徒が書いた現物の答案は返す先生とそうではない先生がいるのですが、手元に現物が返ってこなくても文句は一切出ませんね。○×や得点のついた採点結果が手元に届けばそれで大丈夫です。生徒にとっても、保護者にとっても、採点がデジタルになったことは「進んでいるな」と感じる程度で、それほど不思議ではないようです。

## Google Classroom連携は非常に効果的

——この春から正式リリースする「Google Classroom連携機能」を1月のテストと3月のテストで試して頂きましたが、いかがでしたか？

**田中先生** 学校全体ということではなく、ひとまず何人かの先生で試してみようということだったんですが、ここにいる3人は全員が試しました。

**山田先生** まったく問題なかったですね。非常に良かったです。生徒からも答案を返して欲しいという声は出ませんでした。

**田中先生** 新年度からはこのGoogle Classroom連携をメインにする人が多くなると思います。これまでは、採点結果の答案を印刷するのにも時間がかかりますし、授業で答案を返すのにも時間がかかりました。この時間がなくなることは大きいですね。試験後の最初の授業までに答案が返却できますので、授業が変わる教員も多いと思います。「最初の授業までに復習しておきなさい」とすることで、いきなり解説から始まる場合もあるのではと思っています。

**小川先生** 英語では、試験後の最初の授業で答案を返す前に、正答率が低かった問題を生徒同士で相談して解き直しさせたりします。これは答案を先に返してしまうとそれを確認したいという気持ちが出て、なかなか授業に集中できない生徒がいるからです。今後は授業前に返却しておくことで、その対応も変わってきそうです。

**山田先生** 試験後の1時間分の授業を無駄にしているケースもあります。答案を返却するのにも時間がかかりますし、返せば生徒は結果をまずは確認しますよね。その段階で採点結果に修正のある生徒はそれを持ってくることもあります。そうすると中途半端な時間しか残らず、解説を少し行っただけで授業が終わってしまいます。本来次の授業に進みたかったところが進めないということがよくありますね。先に答案を返してしまえば、次の授業にすぐ進む先生もいると思います。新年度は色々変わってくると思います。

## 先生方にゆとりが生まれた

——デジタル採点の導入で先生方の作業が効率化して時間の余裕が出たと思いますが、その時間をどう活かしておられますか？

**田中先生** 空いた時間を何かに活かすというよりは、先生方にゆとりが生まれたことが大きいと思っています。働き方の部分で非常に

大切なことです。

**山田先生** 閻魔帳(生徒の成績を記録しておく一覧表)がいなくなったのが大きいですね。すべてデジタルで集計できるようになったのは非常に余裕が出ます。

**小川先生** 余裕が出たことで、採点に時間のかかる英作文の語数を増やすこともできるようになりましたね。テストの問題の作り方自体が変わってきた部分もあります。

**田中先生** 採点のデジタル化はこういう効果が出ると思っていましたが、本当に大きい変化だと感じています。

#### —— YouMark Personalの設定や操作にご苦労はなかったでしょうか？

**田中先生** 本当に最初だけです。今はもう私に聞いてくる教員もほとんどいません。周りの誰かがわかっているという状況もありますが、一度やってみたらあとは大丈夫だという感覚です。

**山田先生** 最初は私が一番わかってなかったくらいでした。最初の1回教えてもらった、2回目からはまったく問題ないですね。今は私が教えているくらいです。操作は非常に簡単だと思います。先日のGoogle Classroom連携も、データの紐付けで田中先生に少し手伝ってもらいましたが、難しくなかったです。

**田中先生** Google Classroom連携も、そんなに難しいとは思わなかったですね。ほとんどの教員がすぐにできるようになると思います。

#### 学年末考査翌日からの修学旅行という ピンチにも対応出来た

**山田先生** 数学の解法を書かせるような記述問題は当初は難しいと思っていました。解答のみを書かせる問題だけをデジタルで採点して、手採点の結果と合算していたんですね。でも、思い切ってYouMark Personalでやってみると、思っていた以上にやりやすかったです。現在は模範解答を画面の半分に表示し、生徒の解答1名分を画面の半分に表示する設定が良いと気づいて、さらに効率がアップしました。アンダーラインを引いたり、「ここまで何点」と書き込んだりという作業が思っていた以上に簡単でした。数学の教員にとっては一番抵抗があったのは記述式の解答でしたが、やってみたら非常に大きな効率アップになりました。

実は今回、コロナ禍の影響で、学年末考査の翌日から修学旅行という強行日程だったんですね。私は5日間の試験日程の最終日が試験実施日で採点時間が全然取れませんでした。とにかく事前にYouMark Personalの設定を済ませ、試験が終わったら答案のスクリーン画像をアップロードしておきました。修学旅行には答案を持って行けませんが、YouMark Personalならパソコンさえ持っていればどこでも採点ができます。修学旅行から帰ってきた翌日が答案返却の日程でしたので、YouMark Personalがなかったら、修学旅行に

行けませんでしたね。本当に助かりました。

#### コメント記入の機能をもっと充実させてほしい

#### —— YouMark Personalに何かご要望はありますか？

**山田先生** 先ほども申し上げたように、採点時にコメントを書き入れることがよくあります。「説明が不足しています」といった内容だったり、証明問題であれば「結論を使っているので得点になりません」といったりした内容を文字で書き込んでいます。このコメントは決まり文句が多いですね。設問ごとには履歴が残るのですが、どのテスト、どの問題でも、アカウントで履歴が残って、そこから使えると非常に便利です。

**小川先生** 私も文字入力でのコメント記入はよく使います。アンダーラインを引いて、何故そこにラインを引いているのかの説明を書いたり、「よく来ています」というコメントを入れたりすることもありますし、「論理的でないです」といったコメントを入れたいシーンもありますが、毎回入力していました。履歴が残っていて、そこからコピーできると非常に助かります。

**田中先生** コメントの入力機能を使う先生は多いですね。私もたまに書き込みます。答案上での生徒との対話、指導に活かせます。ただ、コメントの入力ボックスが出てくるのが少し邪魔ですね。画面の上や右の端にずっといてくれたらいいなと思っていました。入力ボックスが解答の上に出るので採点のさまたげになります。動かしながら作業しています。また、採点後に配点が変われないというケースがたまにありますので、何らかの機能が欲しいですね。採点の修正ももっと分かりやすくなると嬉しいです。最後に、正答率や平均点が画面で一覧表示できたり、ファイルでダウンロード出来ると嬉しいですね。それくらいであれば完璧だと思いますよ。



※上記要望事項はいずれも佑人社内ですでに課題に上がっているもので、少しずつ改善していくことをお伝えしました。

# セキュリティ

SECURITY

「YouMark Personal」は強固なセキュリティと動作の安定性で  
サービス開始以来、サーバー障害のない信頼性の高い運用を行っています。



## 24時間365日

24時間365日使用可能。突発的な障害にも迅速に対応します。



## ウイルス対策

サーバーに対策ソフトを導入し、リアルタイムスキャンと定期的スキャンを実施しています。



## 定期的なバックアップ

定期的にバックアップを取り、万が一の障害発生時にもデータの復旧が可能です。



## 高負荷対策

高負荷になりやすいサーバは全て高スペックで構成。アクセス増加時などにも対応。



## アクセス制限

特定の接続元以外は接続できないようにアクセス制限を設けています。



## ファイアウォール

システムに不必要なポートを遮断し、セキュリティを向上しています。



## サーバー冗長化

全てのサーバーを冗長化していますので、障害によるシステム停止はありません。



## 監視

サーバーとシステムの監視を常時行い、障害をいち早く検知可能です。



## ログ管理

不正操作や不正アクセスなどセキュリティ上の問題に備えログを取得しています。

# 料金プラン

PRICE PLAN

基本機能だけならずっと無料

## 無料プラン

料金 0円

ご利用開始から1か月間、全機能をお試しいただける「お試し期間」が付与されます。

まずは少しずつデジタル採点を導入したいなら

## 従量課金プラン

料金 10円(税別)／答案1枚

最低で契約料金は年間10万円(1万枚)です。\*  
使用人数に制限はありません。

定期テストだけでなく、  
小テストでもたくさん利用するなら

## 定額プラン

料金 年額 1万円(税別)／教師1名

最低で契約料金は年間10万円(10名)です。  
使用枚数に制限はありません。

|                    | 無料プラン | 従量課金プラン | 定額プラン |
|--------------------|-------|---------|-------|
| テストの新規作成           | ○     | ○       | ○     |
| テストのコピー            | —     | ○       | ○     |
| テストの設定             | ○     | ○       | ○     |
| 答案スキャン画像のアップロード    | ○     | ○       | ○     |
| テストの採点             | ○     | ○       | ○     |
| ペنツール(添削機能)        | —     | ○       | ○     |
| 2回採点機能             | —     | ○       | ○     |
| 他の先生への採点依頼         | —     | ○       | ○     |
| 採点結果CSVのダウンロード     | ○     | ○       | ○     |
| 採点結果PDFのダウンロード     | ○     | ○       | ○     |
| Google Classroom連携 | —     | ○       | ○     |

※年間1万枚に満たない場合もご契約料金は10万円(税別)となります。1万枚を超える場合は、1枚ごとに10円(税別)が発生します。

※無料プランのお申し込みは小学校・中学校・高等学校・大学・各種専門学校など、学校からのお申し込みに限ります。

お申し込みはホームページより

ホームページからお申し込みいただき、  
アカウント発行後にご利用可能になります。

youmark personal



www.yu-jin.co.jp/personal/

スマートフォンの方  
はこちら



株式会社 佑人社

〒113-0022 東京都文京区千駄木 3-43-17 KDXレジデンス千駄木 2F www.yu-jin.co.jp



17001187